

にしのおいけ

社会福祉法人 平成会

西の池学園

住所 東広島市高屋町小谷 5001-5

TEL (082) 434-0405

FAX (082) 434-5599

メール heiseikai@nishinoike.or.jp

HP <http://www.nishinoike.or.jp/>

編集 西の池学園 広報部

発行者 西の池学園長 赤坂 秀則

第 73 号

(平成 27 年 7 月 1 日)



あさひ施設外就労 ～ジャガイモ収穫作業～

私が、平成会西の池学園に就職したのは、今から二十数年前になります。当時、自分の親世代の利用者の皆さんと、毎日作業に汗を流し、夕べのひと時を家族のように過ごしていたものです。ともに年齢を重ね、現在は介護や介助を必要とする方も多くなり、当時の雰囲気は無くなってしまうしました。そのような中でも、利用者から日々、何気ない声を掛けてもらうことで自分が元気づけられていることに気づくことがあります。誰でも人生の中で困難に直面することがありますが、長く働き続けていられるのは、色々な人の支えがあったからであり、何気ない、多くの寄り添い感を感じることができたからだと思います。現在、相談支援専門員として、多くの人に関わらせて頂いていますが、この二十一年間で、福祉の制度も、障がいについての考え方も大きく変わってきました。障がいは「社会的障壁」であるとして、障がいがある方が不利益を被らないように、「合理的配慮」をする事が義務づけられるようになっていきました。そして、利用者主体の支援をしていくうえで、相談支援の業務はその「要」にあるものと思います。相談内容は十人十色で、即解決と行かないことが多いためですが、個人と環境との間で起きている様々な生活のしづらさに対して、障がいのある人達の気持ちに寄り添いながら、サポート出来るようにしていきたいと考えています。

西の池学園 課長 近藤 直子

20年を振り返って

デイセンターごだま

野球観戦に行きました!!



今年も、年に一度の野球観戦に行きました!! 「カープの試合を見に行きたい! 応援が好き!」 だけど、「一人では...」人が多い場所は苦手... といった不安から、球場へ足を運ぶことが難しい方や思うように観戦を楽しめない方もおられます。そういった周囲の環境による不安を和らげるように、球場への下見や、写真を使ってスケジュール表を作るなど準備をします。そして、観戦当日は「応援したい!」



応援に熱が入るKさん

「面白い物でしたい!」という皆さん、それぞれの楽しみ方ができるようにお手伝いをしました。カープ観戦では、皆さんいろいろな楽しみ方をされていきますが、私は観戦後の皆さんの顔を見るのが楽しみです。帰りの道中、疲れてウトウトと眠たそうな表情を見ると「ほっ」と気持ち癒されます。皆さんが「楽しかった」、「また行きたいな」と感じてもらえるように、来年も計画していきたいです。

支援員 小川 卓也

多機能型事業所あさひ

手話を使って笑顔が増えた!



施設外就労先での朝会のひとこま

作業現場の良く見える場所に掲示している手話のイラスト

4月からあさひを利用されているNさんは聴覚に障害があります。そんなNさんにあさひでは、新たな取り組みを始めました。まず一つ目は朝会の内容です。朝会の最後に一つでも手話をみんなで覚えていきたいと思います、Nさん中心に利用者、職員みんなで「今日も一日がんばりましょう!」を手話で行うようにしていきます。二つ目は、作業現場に「ありがとうございますイラスト」など、手話のイラストを貼っています。少しずつですがNさんと手話で会話をする光景が見られるようになっていきます。そして、いつの間にか、Nさんを中心としてみんなの笑顔が増えているように思えます。手話というコミュニケーションの手段が一つ増えたことで、みんなのつながりが増えていけば、こんなにうれしいことはありません。

支援員 川崎 大希

「強度行動障害」への取り組み



慣れ親しんだ「地元」での生活を目指して...

不安や混乱から、激しい自傷行為や他害などを繰り返してしまう人がいます。このような行動を「強度行動障害」といいます。地元の中学校を卒業した「強度行動障害」のある方が、家庭での生活が困難になり、市外の施設で生活をされている方が何人もいます。そのような実情を受け、慣れ親しんだ地元で過ごせるようにという思いから、今年度より西の池学園での受入れをしています。刺激の少ない環境で、見通しのもてる生活ができるように支援していくことで、その方が感じている「生活のしづらさ」が改善され、いつか施設から地域で生活できるように取り組んでいきたいと思っています。

西の池学園 支援員 金子 亮平